

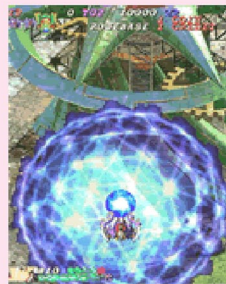
一番判 バラ色のビビ

「惚れた! この女、テレサ・ローズを我が妻にする! 決めた! で、彼女の刑ほどまで長く出来ると思う?」

「ローズ・ガーデンの凶行」と見出しのある新聞を握り締め叫ぶ一人の男。巨大な体躯に洗黒い肌、顔の半分をマスクで隠しており、セント・レア国影の実力者と噂される。アンタッチャブル・モンスター「ビッグ・バーン」と人は呼んだ。

時は19世紀。場所は西欧。蒸気機関の新産業で人々が豊かになっている頃の事。エーデルワイス国に突如現れたテレサ・ローズ率いる機械兵団「ローズ・ガーデン」世界を暴君で覆うとして起こした大侵襲(後に「ローズ・ガーデンの凶行」と呼ばれる)は、エーデルワイス国特殊部隊によって鎮圧される。

首謀者テレサ・ローズは逮捕され、「西欧平和維持連合」による裁きを受けた。判決は大西洋上に浮かぶ孤島「ヘレニウム」への流刑。花一輪も咲かぬ、隔離された孤島で、ただ生きていくだけの日々は、テレサに十分過ぎる絶望をもたらした。今が何時なのかテレサにももうどうでもいい。良く晴れたある日。ヘレニウムの地で、テレサとバーンの爆弾の音が繰り返り行われていた。最も嫌う、ニンゲンの...、しかもこんなに醜い男の妻にさせられるとは...。ずいぶん幸運い刑を考えたものだ...。満面の笑みのバーン。からっぴな表情のテレサ。



PinkSweets ピンクスウィーツ ~鋳薔薇それから~

